

小美玉市議会広報特別委員会会議録

招集年月日	平成29年4月6日(木)	午後1時30分
会場場所	小美玉市本庁舎 3階 委員会室	
出席委員	大槻良明委員長、谷仲和雄副委員長、小川賢治委員、幡谷好文委員、石井 旭委員、植木弘子委員、村田春樹委員、市村文男議長	
欠席委員	なし	
職務出席者の職氏名	久保田議会事務局長、鈴木議会事務局次長、深作書記	
協議事項	1. 議会広報おみたま第45号の編集について 2. その他	
会議 (発言等の要旨)	開 会 午後1時30分	
谷仲副委員長	それでは皆さん、こんにちは。 ただ今より広報特別委員会を開会いたします。 委員長挨拶、大槻委員長よりご挨拶申し上げます。	
大槻委員長	お忙しい中、今日はお集まりいただきましてありがとうございます。 今日は非常に風が強いですね。この前は雪の中大変でございました。なんか本当にいつも何か行事をやる時は雪降ったり風吹いたり私の日頃の行いが良いのか悪いのかわかりませんが、めっきり季節的に春めいてきてまして、今日6号通ってきましたら桜の花も咲いてきました、今月の20日に議長さんが園遊会のほうへ行きますので、ぜひその辺のねお土産も期待したいと思います。 それでは、今日は第45号の発行について行いたいと思います。皆さんのご協力を得ながらスムーズに進めてまいりたいと思います。ひとつよろしく願いいたします。簡単ですけども挨拶に代えさせていただきます。	
谷仲副委員長	続きまして議長挨拶、市村議長よりご挨拶がございます。	
市村議長	それでは、改めましてこんにちは。 めっきり春らしくなってまいりました。今園遊会の話がありましたけれども、今朝の新聞、茨城新聞に載りまして茨城からは18名だったと思います。全国から2,400名、秋には茨城から15名だったのですが、いくらか重なっている方がいるのかなと思います。私みたいに。2回目でありがたく思っております。 今日は広報特別委員会の案件につきましてよろしく願いしたいと思います。ご苦勞様です。	
谷仲副委員長	それでは、これより協議事項に入ります。委員長のほうに進行を渡します。	
大槻委員長	それでは、協議事項にはいる前にですね、このたび4月の人事異動がありまして、これから議会事務局の方も変わってまして、広報委員会の方の担当も替わりましたので、自己紹介という形でお願いしたいと思います。	
	(事務局自己紹介)	
大槻委員長	ありがとうございました。よろしく願いしたいと思います。 それではですね、協議事項に入りたいと思います	
	1. 議会広報おみたま第45号の編集について	

大槻委員長	日 程(案) 次回: 4月11日(火)13:30～ *校正 校了: 4月20日(木) *校正 メ 切・印刷へ 配布: 4月27日(木) *行政区等へ
協議中(委員から)	掲載内容 ○ 表紙について 表紙写真:(案:4/10小川南中学校入学式(新校舎など)) ○ 2～3ページについて H29年度当初予算、地域医療推進特別委員会からの提言書 ○ 4～5ページについて 審議結果一覧 ○ 6～7ページについて 予算特別委員会 Q&A(質疑、討論)、3月定例会日程 ○ 8～9ページについて 常任委員会 Q&A(議案に対する質疑、討論) 現地視察写真を各常任委員会の所に入れる。 ○ 10～15 ページについて 一般質問(11名:各議員半ページ)ほか ○ 16～18 ページについて 特別委員会報告(研修報告、視察受入)ほか ★(18 ページ)一部事務組合の紹介を掲載する ○ 19～20 ページについて ★クイズ(問題の作成・正解者の抽選) ★市民の声(選定) 議長通信、次定例会の予定、編集後記(村田委員) ○ その他の意見について ★文章の統一(質問・答弁は○○する。○○した。),(研修等は○○しました。),(説明的なもの○○しました。○○されました。)
大槻委員長	それでは、その他に移りたいと思います
2. そ の 他	
大槻委員長	次回委員会日程 協議事項: 第45号の校正 開催日時: 4月11日(火) 午後1時30分～
大槻委員長	その他、皆さん何かありますでしょうか はい、小川委員。
小川委員	研修に行かなかったのですが、研修に行つてね。植木委員、何か今度取り入れたらというようなことはございましたでしょうか。参考になったと。 よろしくお願いします。
植木委員	私答えてよろしいですか。 皆さんそれぞれ感じたところがあると思いますが、今回村田委員の編集後記の方に書いてあるよう伝わる原稿の書き方っていうことで、伝えるのではなく伝わるっていうのが、すごく重要かなと改めて意識の中にそれがあるかないかでなにか検討するにも関係してくるのかなと思ひまして、テクニック以前にその部分をその一番感じて帰つて着ました。

小川委員	<p>いかに市民に伝わるかということですかね。 写真のキャプションですか、大事なと思いました。 いろいろ大変勉強になったということだと思いますので、これから広報委員会で生かしていければと思いますのでよろしくお願いします。以上です。</p>
植木委員	<p>追加ですが、これから広報委員会のもちかたについてなんですけども、研修の中で声に出して読んで確認してみるということを教わったのですが、正直これ取り入れると時間がかかってしまうと思うのですか、声を出して読むことによって読みやすさってというのがわかってくると思うのですが、この広報委員会ではどのようにしていくべきなのか皆さんに問いかけたいなと思います。</p>
大槻委員長	<p>今後検討していくということですね。一般質問たとえば、いない人呼んでというのもね。 研修でも字をね、詰めて写真を入れることによって皆さんが読んでくれるというお話もあって、これから議員さんにお話しながら、広報誌の方を見やすく見てもらえるようにしていきたいと思います。 前回の研修を取り入れながら進めていきたいと思います。そしてまた、このまえは何個かのカリキュラムのひとつでいくつかあるんですよ、また皆さんと相談しながら違うカリキュラムを受けたいという話があれば次回また受けたいなと思います</p> <p>はい、谷仲副委員長。</p>
谷仲副委員長	<p>前回の視察の一般質問というところですね、基本的には文字数が減れば減るほど発言した人間でないところがポイントなのかほかの人間ではわからないというところを踏まえて各議員を対象にした一般質問の書き方という視察が目的だと考えます。 できれば徐々にですね、一般質問した議員がそのページを責任を持って文章を作るという形にこれ段々移していく方向性でなければこの後研修行きましようと言っても、結局それは事務局の研修になってしまう。 議員の研修ではないと考えますので、それも含めて一般質問の部分はその議員さんが責任を持って要約したものを、まあどこがポイントだというものを事務局側にはっきり伝えないと、事務局が文章書くにしても事務局がまとめただけここじゃないんだよねっていうケースがこれから必ず出てきますので、そこらへんのとこだけひとつお話をさせていただきます。</p>
小川委員	<p>私も一言いいですか。 非常に大事なことだと思っていまして、私、今回初めて自分で書いてみたものを載せてもらったんですよ。この Q&A の Q はあまり長くなく、そして A (アンサー) の執行部の答弁も、執行部の答弁は後で事務局の方でいただけたと思うので、それを基にですね要約して作ればそんなに難しくなくね出来るってふうに今回経験して、今までは、質問項目だけで書かなかったんですが、今回書いてみたんですけど。 今、谷仲副委員長が言ったようにですね、時間をとってやればできるというふうに私思いましたんで、でもほとんどの一般質問やっている方は、そうかなあと思うんですが、努力すればできると思いますので、なるべき事務局の負担というかね、時間をかけないように編集員としても努力することが大事なと私は思いますのでやっていきます。</p>
大槻委員長	<p>それでは、その他皆さんからごさいせんでしょうか。なければこの辺で協議の方は終わりたいと思います。</p>
谷仲副委員長	<p>以上で広報特別委員会を終了いたします。</p>
	<p>閉 会 午後 2 時 45 分</p>

